

## 福岡市内公共用水域におけるノニルフェノール測定結果について

環境科学課 山下 紗矢香・高村 範亮・田辺 智子

### 第 43 回 環境保全・公害防止研究発表会

主に界面活性剤の原料として用いられているノニルフェノールについては、「環境ホルモン戦略計画 SPEED' 98」において内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質に挙げられており、平成 24 年 8 月には水生生物の保全に係る水質環境基準に新たに追加された。福岡市内の河川及び博多湾における水質及び底質のノニルフェノールについて調査を行った。その結果、水質については、河川では検出された地点もあったが、最高濃度でも生物特 A 基準値の半分以下と低濃度であり、博多湾では 1 度もノニルフェノールは検出されなかった。底質については河川及び博多湾ともにノニルフェノールが検出されており、強熱減量の高い地点でノニルフェノールが高濃度検出されたことから、ノニルフェノールは有機物の多い底質に蓄積しやすいものと考えられる。